

報道機関各位

令和5年7月3日
北九州市デジタル市役所推進室

教職員と市職員の負担軽減へ、生成A Iの活用をスタート！

本日開催した「第2回生成A I等活用ワーキングチーム会議」において、生成A Iの活用による職員の負担軽減について、下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

記

全国初！

1 教職員の負担軽減のためのChatGPTの試験運用（別紙1）

- 教職員からの学校ICT環境に関する質問を、ChatGPTと連携させたチャットボットで回答できるようにすることで、「誰でも」「いつでも」「即時に」知りたいことが回答内容として生成され、問い合わせに係る教職員の負担軽減を図ります。

試験期間：令和5年7月～令和6年3月

2 生成A Iの活用開始及び市職員向けガイドラインの策定（別紙2）

- 本日から、全庁で生成A Iの活用を始めます。それに伴い、注意点等を示した市職員向けのガイドラインを策定しました。

3 「生成A I相談デスク」の新設 全国初！

- 本日、デジタル市役所推進室内に「生成A I相談デスク」を新設します。同デスクには、A Iに精通した相談員を配置し、ガイドラインに関しての職員からの相談に対応するほか、問題点の整理、問題点の解決に向けた検討などを行います。

【問い合わせ先】

- ◆本資料全般（下記を除く）に関すること

北九州市デジタル市役所推進室

TEL 093-582-3007 担当課長：須山 担当係長：高塚

- ◆教職員の負担軽減のための生成A Iに関すること

北九州市教育委員会事務局教育情報化推進課

TEL 093-582-3445 担当課長：赤瀬 担当係長：廣瀬

教職員の負担軽減のための ChatGPT の試験運用

➤ ChatGPT を活用したチャットボット（※）の実証開始

あらかじめ教育委員会にて学習させた QA を基に、GIGA 端末の使い方や故障対応などの学校 ICT 環境に関する質問に自動で答えるチャットボットを、令和 5 年 4 月より運用開始している。

今回更に、**ChatGPT と連携させた実証を 7 月中に開始。**

※「チャット(会話)」と「ボット(ロボット)」を組み合わせた言葉で、自動会話プログラムのこと

➤ チャットボットと ChatGPT との連携で広範囲かつ高度な回答

チャットボットで用意した QA の範囲で回答できない場合に、教育委員会があらかじめ学習させた通知やマニュアルなどの情報を基に ChatGPT が回答を自動生成することで、回答の幅が広がるだけでなく、人間と同等以上の文章生成能力、文章理解能力により、回答の質が向上する。

➤ 「情報の正確性」を確保し、「著作権」侵害のおそれがない

教育委員会が作成する QA や通知、マニュアルの範囲内のため、情報の正確性を確保でき、著作権侵害のおそれがない。また、活用が学校 ICT 環境の業務範囲のため、個人情報や機密情報を取り扱わない。

➤ 教職員と教育委員会事務局の負担軽減

「誰でも」「いつでも」「即時に」知りたいことが回答内容として生成されることで、問い合わせに係る学校現場の教職員や、問い合わせ対応を行う教育委員会事務局の職員の負担軽減を図る。

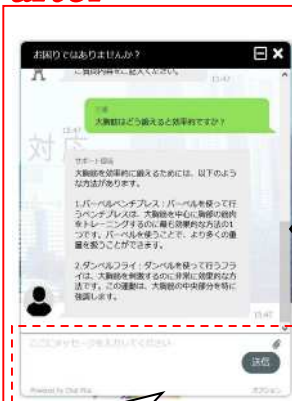
試験運用イメージ

before



あらかじめ作成した
QA のみ回答（選択式）

after



チャットに入力された
質問に回答（入力式）



生成 AI の活用例及びガイドラインのポイントについて

1 生成 AI の活用例

- (1) 報道発表資料、挨拶文などの文案作成
- (2) 文章の添削
- (3) 企画のアイデア出し
- (4) 情報検索



2 ガイドラインのポイント

- (1) 個人情報や機密情報等の入力を禁止する。
- (2) 生成物について、下記の観点から複数の職員で確認し、問題のある表現は必ず加除・修正する。
 - ・ 誤りが無いこと
 - ・ 公平性に問題が無いこと
 - ・ 差別用語や倫理に反する表現が含まれていないこと
 - ・ 著作権など第三者の権利を侵害していないこと
 - ・ 第三者の生命・身体・財産に危害を及ぼすことが無いこと など
- (3) Microsoft 社が提供する BingAI を活用する。